

<<東北魂>>を鼓舞する  
電子新聞

発行所 株式会社遊無有  
〒207-0005  
東京都東大和市高木3-315-1-2-2  
http://www.yumuyu.com/  
e-mail:yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

# 東北復興

## Rising up , TOHOKU!

無料

# 第89号

毎月発行

発行 2019年(令和元年)10月16日 水曜日

2019年(令和元年)10月16日 水曜日

### 【当新聞発行責任者 兼編集長兼記者紹介】

#### 【砂越 豊】

宮城県生まれ、66歳、経営コンサルタント、趣味は縄文研究、今年1月に『東北先史時代学』を提唱、東北から日本を変えることを標榜。また縄文遺跡保存活動として郷里の涌谷町の『長根貝塚保存活動』開始。映像プロデュース事業にも進出。



## 『災害大国・日本』を全国民が共有する時は来るのか 予想もしなかった雨と洪水と堤防決壊で甚大被害 いつになったら3・11の教訓は活かされるのか

### 台風19号の主な被害

各県別犠牲者数、行方不明者数  
避難者数、堤防決壊箇所  
(毎日新聞その他情報ベース)  
(2019.10.15 20:37時点)

県別	犠牲者数
福島県	26名
神奈川県	14名
宮城県	14名
群馬県	4名
栃木県	4名
長野県	3名
岩手県	2名
茨城県	2名
埼玉県	2名
東京都	1名
千葉県	1名
静岡県	1名
計	74名
行方不明者	12名
けが人	
避難者数	3万8000名
堤防決壊箇所	7県、52河川
	73か所
断水	12万8000戸
停電	2万6000戸

#### 広範囲の被害

右の表の主な被害状況をみると分かるように、被害

#### 後付けの解説は無用

台風が過ぎ去った後、二度と聞きたくない言葉である「想定外」、「予想外」という言葉がテレビから何度も流れてくる。

#### 気象庁は予測できなかったのではないのか

台風来襲前に何度も出た

#### 台風十九号「ハギビス」の意味は「スピード」

『ハギビス』とは、フィリピンのタガログ語で「スピード」という意味だそうである。この台風は発生当初からアメリカで注目を集めたらしいが、その理由はその急発達ぶりにあるという。

が広範囲に亘っている。近年の台風とは被害規模の広さは比較にならないほど大きい。それがまったく分かっていなかったため、被害が広がったとまず結論づけたいと思う。

大震災以来の八年間を自然災害対策に費やしてきたのではなかったか。また、台風被害結果について専門家たちが起きてしまったことをクドクド述べているが、ほとんど意味のないことである。いまやらねばならないのは、二度と起きない対策を検討することである。

メッセージ「命の危険」は抽象的過ぎて意味不明だった。要するに、具体的に被害が予測できないという意味ではなかったか。また関東南部を襲う風台風というイメージを醸し出していたが、実際は広範囲の豪雨台風だった。

#### 政治家は自分の最大の職務を忘れた

「まずまずの台風被害」と言った政治家は言語道断

#### メディアは騒ぎ立てるネタにすぎないのか

あの震災の時もそうだったが、メディアは被害者の苦しみに沿うというよりも、「事件だ、事件だ」と大騒ぎしている印象しかない。

#### 【自然災害大国日本】をきちんと自覚すべき

国民ももっと賢くならなければならない。誰も頼れないことが再度分かったのだから。そしてこの日本列島が、自然災害列島であり、普段からあらゆる災害に対して備えるべきことをしっかりと自覚すべきである。



呆然とする被災者



堤防決壊

**—材料—** じゃがいも 1k、  
ザラメ 600g、塩 300g  
**—作り方—** 皮ごと煮てから、ザラメ、塩で味付けをします。8時間下味をして、寝かせますとても美味しくなります。焼くときには、芋床を洗い流します。



出来上がり

## 第62回

### 水産業再興のための料理レシピ紹介

#### 【芋床】

福島県の郷土料理、芋床という保存調味料を魚に味付けしてみました。ブリ、鮭など魚を熟成させて、旨味がアップする。魚の旨みが引き出され、美味しくなります。ジップロック保存で6か月持つようです。（松本談）



郷土料理愛好家  
松本由美子氏



焼く前



ジップロック保存



素材



刺身

**宮城県出身者の会  
「38ぎの会」交流**  
10/3、神田の「ヒガシノマグロ」店で開催。筆者は二回目の参加。宮城県選出の参議院議員さんも飛び入り参加。高校後輩にも出会い、大盛り上がり。



会場の様子



カキフライ



鍋



前菜



写真でお伝えする **東北の風景**  
**秋の鹿**  
写真撮影 尾崎匠



# 高等教育と人口移動

## 東京に住む東北出身者は低学歴?

七月一六日発行の本紙第八六号では、東北の人口減少について取り上げた。一九九五年に九八三万四千人だった東北地方の人口は、今年六月時点で八六八万二千人と、何と一一五万人も減少しているのである。仙台市の人口が現在一〇八万人だが、それを上回る数の人が東北地方からいなくなったことになっ

ているわけである。その大きな理由の一つが少子化による出生率の低下にあることは言うまでもないのだが、それ以上に問題なのは東北地方から主に首都圏への人口流出である。少子化についても人口流出についても、なかなか抜本的な解決策が講じられず、この現状を打破することは容易なことではないが、考えられることについて書いてみた。

そんな中、最近の週刊誌に気になる記事があった。「都市部の東北出身者に『非大卒』が多いのはなぜか」という記事で、女性セブン二〇一九年一〇月一〇日号に掲載されているようである。

元々、東北六県の大学進学率は低い。文部科学省のデータを調べてみると、二〇一七年度の短大を含む大学進学率は全国で五四・八パーセントと、既に半数を超えている。その一方で同年度の東北各県の進学率を見ると、宮城が最も高いがそれでも四九・二パーセントと半数に届いていない。都道府県別の順位でも二七位である。他の五県はさらに低く、高い順から福島四五・六パーセント(三四位)、秋田と山形が四五・三パーセント(三五位)、青森四四・五パーセント(三九位)、岩手四三・六パーセント(四三位)となっており、総じて東北の大学進学率は他地域に比べて元々低い。

ちなみに、高い方では、京都六六・二パーセント、東京六五・九パーセント、神奈川県六一・三パーセント、広島六〇・七パーセントなどとなり、十位まで見てもランキングしているのは首都圏と西日本の各都道府県である。

記事中に登場する早稲田大学人間科学術院教授の橋本健二氏によれば、「この進学率の差は、そもそも地方の大学定員が少ないことが少なからず関係しているが、それだけではありません。特に、東北地方には特有の傾向が見られます。東京在住者を対象に、東京、千葉、神奈川などの南関東出身者、東北出身者、関西や九州などそれ以外の出身者と、三グループに分けてそれぞれ行った調査によると、大卒者の割合は、南関東で四四・九パーセント、それ以外で五二・五パーセント、東北では一七・九パーセントと、東北の大卒割合が他の地域に比べて著しく低かった。反対に、非大卒者の多い労働者階級の割合は、東北出身者は六七・九パーセントと最も高く、南関東は五〇パーセント、それ以外では三八・九パーセントでした」とのことである。

つまり、東京にいる東北出身者は、他地域の出身者に比べて非大卒者の割合が明らかに高いというのである。このことについて同氏は、「東北地方の大学進学率が最も低いこともあ

りますが、一般に、多くの地方出身者は高度な知識や経験、技術などを発揮できる職を求めて上京するため大卒の地方出身者が多くなるのに対し、東北では、大卒者は地元で就職することが多く、非大卒者は職を求めて上京する傾向が強いのではないかと思います」としている。やはり同記事中に登場する作家の橋本氏は、「他人と比べて、何らかのアドバンテージを持つ地方出身者は都市部に行く」とする傾向が強い。学歴による収入格差はあるものの、地方にとどまる人よりも、経済的に豊かになる傾向は強いでしょう」と指摘しているのだが、こと東北に限って見ると、橋本氏の見方は当てはまらなさそうに見える。

橋本氏は進学率の差が地方の大学定員の少なさにあるとしたが、実際はそうでもなさそうである。東北六県の大学の入学定員を人口で割ってみると、青森〇・〇二七、岩手〇・〇一九、宮城〇・〇四九、秋田〇・〇二二、山形〇・〇二五、福島〇・〇一八である。これに対して先ほど大学進学率が上位にあった都道府県を見てみると、京都は〇・〇二三、東京は〇・〇二二と、人口当たりの入学定員は東北各県と一ケタ違うが、神奈川県は〇・〇〇五〇、広島は〇・〇〇四七、兵庫は〇・

〇〇四九と、宮城とそれほど変わらないことが分かる。すなわち、大学入学定員が少ないから進学率が低いということではなさそうである。

今も尾を引く「戊辰戦争」の影響  
東北地方の大学定員が他地域に比べて少ないわけにはないという事は分かったが、ある学部に限って見ると、違った姿が見えてくることもまた事実である。ある学部とは、医学部である。こと医学部に限って見ると、様相はガラリと変わる。

現在、全国に医学部は八〇ある。各都道府県に最低一つ、医学部はあるので一見そこに差はないように見えるが、よく見ると実はかなり差がある。その辺りについては、医療ガバナンス研究所理事長の上昌広氏が詳細に論じている。氏は指摘する。「九州の人口は一三二〇万人ですが、一〇の医学部があり、年間約一〇〇〇人の医師を養成します。四国の人口は四〇一万人で、四つの医学部があります。ちなみに、このレベルは、人口一三〇〇万人で一一の医学部がある東京と同レベルです。一方、千葉・茨城・埼玉県の人口は合計一六三〇万人ですが、医学部は四つしかありません。うち一つは防衛医大のため、地域医療への貢献は限定的

です」。ちなみに、東北は四国の倍以上の八六八万人の人口でありつつ、医学部は六つである。

上氏はこの「格差」の理由について、重要な指摘を行っている。こうした医学教育の格差が生じるのに重大な影響を与えたのが「戊辰戦争」だということである。戊辰戦争とは言ってもなく、王政復古を経て明治政府を立てた薩摩藩・長州藩・土佐藩などを核とした新政府軍と旧幕府軍や東北諸藩が結成した奥羽越列藩同盟が戦った我が国の「内戦」である。

氏によれば、九州地区の医学部は歴史が古く、長崎大、鹿児島大、熊本大は長崎奉行書西役所医学伝習所や藩医学校を前身としており、それが明治以降、地域の中核医学部として発展している。九州は維新以降も重点的に開発され、九州大と久留米大学は一九〇三年、一九二八年に設立されている。一方、賊軍とされた幕府側は医学部教育でも憂き目を見ており、その代表が会津藩だという。会津藩には日新館という当時全国有数の藩校があり、その中には医学部もあったが、戊辰戦争で焼失し、その後再建されることはなかった。福島県に医学部ができるのは、終戦直前の一九四四年である。福島女子医専、現在の福島県立医大である。人口二〇〇万の福島県に医学部はこの一校しかなく、人口

当たりの医師数は全国平均を大きく下回っている。氏は強調する。「学校教育や西洋医学などの近代の社会システムの根幹が形成されたのは明治期です。そして、そのグランドデザインを描いたのは薩長を中心とした維新の志士たちです。彼らは出身地へ重点的に資金を投資したと考えるのが妥当でしょう。一方、関東の多くは幕府直轄領、あるいは親藩・譜代大名の領地です。戊辰戦争後の戦後処理で、冷遇されたのも無理ありません。「教育は人材養成の根幹です。高等教育機関が出来れば、そこへの入学を目指し、中学・高校が切磋琢磨して裾野が広がります。例えば、九州には北は修猷館高校から、南は鶴丸高校まで全国レベルの公立進学校が、多数存在します。修猷館、鶴丸高校は何れも藩校に由来します。一方、東京以外の関東圏の進学校は、千葉高や浦和高校など少数です。これらは明治期に創設された旧制中学が前身です。九州の雄藩が、如何に教育に力を入れていたかお分かりでしょう」。

その影響は今も続いている。これについては相馬中央病院内科医の森田知宏氏が論じている。氏は、国立大学医学部のない県に着目する。そして、国立大学医学部がないということ、は、教育格差を表している」と指摘する。国立大学は国

がつくり、運営交付金という形で国が補助する。総額一兆一〇〇億程度が国立大学に支払われるが、その額は大学によって多寡があり、多く支払われている大学は全て医学部を持っている。しかし、一部の県には国立大学の医学部がない。国立では年間の授業料が五〇万円強なのに対し、私立では年間三〇〇万円、場合によっては一〇〇〇万円近く必要となる場合もあり、私立大学の医学部に行ける高校生は限られてしまっている。「教育の平等という視点から考えれば、由々しき問題」と氏は指摘する。東北で国立大学医学部のない県は岩手と福島である。特に岩手は私立の岩手医大が唯一の医学部を持つ大学であり、岩手の高校生が国立の医学部を受験しようとした場合、他県の大学を受験しなければならぬ。なおかつ、関東にも国立大学の医学部は六校しかなく、関東の高校生が距離的に近い東北の国立大学を狙うため、岩手の高校生にとっては東北の国立大学の医学部を狙うのは自ずとハードルが高くなるというのである。

他県から入学した医学部生は卒業するとその多くが地元に戻るため、東北でいくら医学生を養成しても地元はいままで経っても医師が不足したままという状況になる。氏もその状況につ

## 執筆者紹介

大友浩平

(おおともこうへい)

奥州仙臺の住人。普段は出版社に勤務。東北の人と自然と文化が大好き。趣味は自転車と歌と旅。

「東北ブログ」

http://blog.livedoor.jp/anagna51

Facebook  
https://www.facebook.com/kouhei.ootomo



いて、「一八八六年の帝国大学令から続く大学の歴史は明治維新と切り離せません」と強調する。同じように国立大学医学部のない和歌山は「御三家」の一つ、国立大学医学部が少ない関東一円は幕府のお膝元で、「山口や鹿児島に旧藩主サポーター下の県立医学校が一八〇〇年から存在したことと対照的」と指摘する。東北の状況も同様の理由だということである。

明治以来続くこうした状況が一足飛びに変わるとは考えられない。であっても現状を少しでも変える取り組みは必要である。具体的には、もちろん簡単なことではないにしても、他地域から大学入学をきっかけに東北に住んだ医学生が、卒業後も引き続き愛着を持って住み続けてもらえるような、そのような地域をつくっていかねければ、東北の先行きは成り立たないということである。



# まさかど 将門が歩いた？東北の事

「それって、本当なのか」  
と思わず乗り出してしま  
うような内容なのに、その真  
偽がほとんど追究されない、  
不思議な伝説というものが  
ある。そもそも伝説に真偽  
を求める方がおかしいのか  
も知れないが、中には義経  
北行伝説のように嘘や作り  
話ではなく事実として証明  
しようと、研究が続けられ  
ているケースも決して少な  
くないのではないだろうか。

東北の伝説で不可解なも  
のといえは、岩手県の県名  
の由来であるとともに盛岡  
市ほかの郷土芸能・さんさ  
踊りの起源ともされる「鬼  
の手形」伝説であろうか。  
—その昔、この地に羅刹な  
る鬼がおり、民を日々苦し  
めていた。三ツ石の神は人



奥羽越現像氏紹介

一九七〇年山形県鶴岡  
市生。札幌、東京を経て、  
全国の旅の末、仙台に移  
住。どの本屋に入っても、  
とりあえず郷土本の棚に  
向かって立ち読みを始め  
る東北好きである。

々の祈りに応え、鬼を捕ら  
えて巨石に縛り付ける。鬼  
は二度と悪事を為さず、こ  
の地をも踏まない約束の証  
として石に手形を押して去  
った。人々はその喜びを幾  
日も踊り続け神に感謝を捧  
げる事で表し、それが「さ  
んさ踊り」の始まりとなっ  
たのである—

これは一体、何なのであ  
ろうか。鬼という怪物が実  
在したなどと、信じる現代  
人はまずいなさうだ。に  
も関わらず、岩手県名とさ  
んさ踊りの由来について、  
他に具体的且つ印象的なも  
のは終ぞ聞かない。

世に超自然的な出来事な  
ど一切存在せず、全ては科  
学的に説明可能とするなら  
ば、岩手県名、そしてさん  
さ踊りの由来には必ず他に  
真実があるはずである。  
「当たり前じゃないか」と  
誰もが思うのだが、もはや  
ほとんどの現代人が、その  
追究をしないのである。

しかし考えてみれば当然  
の事ではある。今さら解明  
できるはずもなく、仮に解  
明されたとして羅刹鬼のエ  
ピソード以上に人々の心に  
インパクトを与え、且つ愛  
され得る由来など、ありそ  
うもないからだ。

うだ。ところが、他ならぬ  
筆者の郷土・山形県庄内地  
方に、どうにも捨て置けぬ  
気になる伝説が一つ、山の  
如く動かずに存在する。  
それが、羽黒山五重塔の  
平将門による創建伝説であ  
る。

平将門といえは、荒保宏  
の伝奇小説『帝都物語』で  
八十年代に一躍有名になっ  
た、東京の守護神的存在。  
江戸城下の時代から城の鬼  
門を守る神田明神に祀られ  
現在も旧城下、下町の人々  
からは篤く崇敬される一方、  
菅原道真、崇徳院と並ぶ日  
本三大怨霊として怖れられ  
『帝都物語』では関東大震  
災を引き起こす驚異のパワ  
ーの持ち主として描かれた。

将門は何故にそのような  
崇る神と言われるようにな  
ったのか？彼の東京更には  
関東一円における絶大な名  
声はその圧倒的実績である、  
世に言う承平天慶の乱、即  
ち関東独立を目指した戦い  
に由来するものである。  
将門の本拠地は現在の茨  
城県から千葉県。坂東武者  
の土地柄を誇る豪族であり  
ながら、桓武天皇の五世子  
孫でもあった。地元の平氏  
一族の抗争から始まった騒  
乱の中、重税に苦しむ人々  
の篤い支持を受けた将門は  
圧倒的な強さとカリスマで  
やがて関東全域を支配下に  
治め、自らもう一人の天皇  
「新皇」を名乗り関東の独  
立を標榜する。

しかし、その「独立国」  
は僅か二箇月で瓦解。朝廷  
により追討を命じられた平  
貞盛、藤原秀郷らの軍によ  
って将門は討たれる。京に  
曝されたその首は怨みの言  
葉を発して関東へ飛び、力  
尽きて落ち、人々によつて  
葬られ首塚となった・・・と  
伝説に語られるのである。

以後、数々の天変地異、  
災厄が将門の祟りとされて  
神田明神に祀られ、明治か  
ら戦後にかけても首塚移転  
計画の際の事故や関係者変  
死などが祟りによるものと  
されるなど、その恐怖は続  
いてきた。一体、この現代  
において千年以上昔に死ん  
だ一人の人間が、現実社会  
を脅かす力を持ち得ると本  
気で考えられるものなのか  
。実に不思議な事なのだが  
、遠く北奥の森に更なる謎を  
秘蔵し、孤高に屹立するの  
が羽黒山五重塔なのである。

将門による「決起」につ  
いては源頼朝の祖・経基、  
平清盛の祖・貞盛、そして  
平泉藤原氏の祖・秀郷が関  
わっている事からも、武士  
の時代のまさに胎動といつ  
ても良い出来事だった。し  
かし、将門の活動が全て関  
東を地盤にしたものかとい  
うと、それほど小さなスケ  
ールの話でもないようだ。

将門の父・良将は陸奥の  
鎮守府将軍であり、彼自身  
少年期は奥羽地方とも所縁  
が深かった可能性がある。  
将門は騎馬軍を駆使し、  
また刀身に反りを持った日  
本刀の原型を初めて使用し

たとも言われる。それら  
を思えば、将門はまさに蝦夷  
の継承者であり、東北と関  
東の間にいた人物という事  
ができるだろう。  
羽黒山五重塔の初めの建  
立は将門の生きた承平年間  
とされ、その創建には将門  
自身のほか、その娘であ  
る「如蔵尼」なる人物が  
関わったとされる説があ  
る。一般には、父が討たれ  
た後に奥州へ逃れ、現在の  
福島県耶麻郡警梯町にある  
恵日寺(当時は慧日寺)そ  
ばに庵を結んだと言われ  
る女性だが、伝説では「滝夜  
叉姫」なる妖術使いとなっ  
て父の遺志を継ぎ朝廷への  
復讐に立ち上がったのが彼  
女であるとかないとか・・・  
ともあれ羽黒山五重塔の創  
建由来にはこの将門関連以  
外の異説がほぼ存在しない  
という特徴がある。

しかしながら問題は、羽  
黒山の麓に広がる庄内平野、  
鶴岡や酒田といった土地に  
は全く将門に関する伝承が  
ない、という事だ。そもそ  
も、鶴岡市の基となった「  
大泉庄大梵字」村が初め  
て記されたのが室町期に書  
かれた『義経記』において  
であり、将門の時代はこれ  
より五百年ほど昔である  
ので無理もないと言える。

将門の時代の東北は、か  
のアテルイが朝廷に敗れて  
より僅か百年余りしか経っ  
ておらず、英雄を失った混  
沌の世界だったかも知れな  
いが、羽黒山は既に開山さ  
れたとされる六世紀末から

三百年が過ぎた、充分に歴  
史深き一大聖地であった。  
将門はこの山を訪れ、平  
野を見渡し、何を想ったろ  
うか。蝦夷に、そしてアテ  
ルイに己を重ね合わせる事  
があっただろうか？事実、  
アテルイを処刑した桓武天  
皇の末裔・将門が次に朝敵  
として滅ぼされ、将門を滅  
ぼした藤原秀郷の末裔・平  
泉四代泰衡がまた蝦夷とし  
て滅ぼされ・・・と繰り返  
れる「叛乱の連鎖」は既に  
始まっていたのである。

奇妙な事に、羽黒山五重  
塔は将門が大己貴命、即ち  
出雲の大国主神を祀る為  
に建立した、という言い伝  
えがある。五重塔は仏教建築  
であり、将門による創建の  
根拠とも言われる、北斗七  
星信仰を示す妙見菩薩像が  
安置される事実と矛盾する  
ようだが、その記述は江戸  
期の文献『三山雅集』にあ  
り、捏造の必要性はなかつ  
たはず、とまずは考える。

しかし、一つ重要な事を  
忘れてはならなかった。江  
戸期、つまり徳川支配の時  
代となった時、古来真言宗  
で一致していた出羽三山の  
うち、羽黒山・月山が天台  
宗に改宗していたという事  
実である。これは、家康の  
絶対的ブレインである天台  
宗の高僧・天海に阿り、山  
威を高めて当時悪化してい  
た庄内藩との関係を改善す  
る狙いがあったという裏事  
情つきなのだが、そうなる  
と五重塔の将門伝説とは、

家康が江戸の鎮護とした神  
を、羽黒山の重要な建築と  
関連づける為に生み出され  
たフィクションだったのか  
？という疑問も浮かび上が  
ってしまうのである。

しかし栄枯盛衰は世の理、  
羽黒山が頼りにした徳川の  
時代にも終わりが訪れる。  
明治新政府が王政復古に  
伴う神道国教化のため推  
し進めた神仏分離令は過激  
な廃仏毀釈の流れを生み、  
神仏習合の地・羽黒山に存  
在した夥しい仏教建築が破  
壊されていったのである。  
無論、仏教を象徴する五  
重塔がその禍から逃れ得る  
訳がない・・・はずだった。

しかし、その最大の危機  
から五重塔を救ったのが、  
他ならぬ平将門伝説だった  
のである。当初、羽黒山境  
内からの移築、もしくは破  
壊を命じられるも、資金不  
足とともにそのいづれも不  
可能と結論された理由の一  
つが、やはり将門の祟りに  
対する恐怖だった。その結  
果、塔内部に祀られた菩薩  
像に替わって大己貴命を奉  
り、仏塔ではなく  
『千穂社』(招魂社)のよう  
な意味)なる独自の社名を  
戴く神社とする事で、新政  
府の顔も立てる形に落ち着  
いたのだ。

羽黒山の将  
門伝説は家康  
時代からの捏  
造なのか。私  
はもう一つの  
東北の伝説を  
思い起こす。  
津軽安東氏の  
後裔に伝わる、  
ルーツであ  
る奥州安倍氏  
の遠祖が大和  
の地を追われ  
た長脛彦の兄・安日彦であ  
る、とする系図の事だ。こ  
れもまた信憑性は低いなが  
ら、むしろ敢えて「朝敵」  
を祖先として捏造した事に  
こそ未だ「蝦夷」である東  
北人魂の凄みを感じる、と  
書いたのは誰であったか。

羽黒山の将門伝説もまた、  
明治政府を震撼させ、東北  
の誇りを守り抜く結果に強  
く作用した。  
ちなみに、現在の塔は十  
四世紀に大宝寺氏によって  
再建されたと言われる。も  
と武藤氏で、平泉藤原氏と  
同じく秀郷を祖とする坂東  
武者であるが、かつて将門  
を討った男の末裔たちが、  
どんな想いでこの塔に向き  
合ったのか。中央への抵抗  
の象徴は、確かに古からこ  
こにあった・・・私にはそ  
う思えてならないのである。

かつて江戸の開発に着手  
した徳川家康と天海は将門  
に纏わる神社を繋ぎ結界と

して都市を補強、朝廷を介  
在させない幕府の拠点をこ  
こに体現したと言われる。  
これに対し後の明治政府  
は、天皇を旧江戸の地へ招  
く為に家康による結界を断  
絶させ、当地の絶対的鎮守  
でありながら朝廷にとつて  
史上最大の「朝敵」でもあ  
る将門の永久的な封印に成  
功した・・・というウワサが  
都市伝説的に語られ続けて  
いる。神田明神の祭神から  
は将門が除外され、民間か  
ら将門復権運動が起こって  
ようやく祭神復帰が実現し  
たのが八十年代という驚き  
の事実がある。今や世界一  
の巨大都市である東京で、  
常に物騒な人々の思惑に翻  
弄されてきた平将門。今も  
時には、古からの風と、反  
骨の魂の拠を求めて羽黒山  
に向かい、東北の地を歩む  
のではないか・・・私は今日  
も夢想してしまうのである。



将門によって建ち、将門によって残った奇跡の五重塔

か

も



宵宮の日



高清水からの夕暮れ



ひつじ雲



勢組

### シリーズ 遠野の自然 「遠野の寒露」 遠野 1000 景より

地球温暖化の影響だろうか、とてつもなく大型化した台風が日本列島を大きな傷跡を残して通り過ぎた。幅広い地域で大量の雨を降らせた台風は、あちこちで洪水を引き起こして、多数の被害者を出した。いつもならば穏やかな秋を迎えるこの季節だが、その静寂を破って、台風に関する速報を知らせるけたたましい不快な音が何度も何度も鳴り響いた。四季の穏やかな進行というものがどんなに貴重で稀有なことなのかを思い知らされた数日であった。今回は秋の香りがたくさんする写真がいっぱいだ。秋祭りのにぎやかだが、心地よい音が聞こえてくる。



夜神楽



権現様



リンドウ



特等席から2

## 【古代の鉄を探索する旅】④

世界最古の人口鉄は4千年前にトルコで発明されたが中国、朝鮮半島へ伝播、東北への伝播はどのルートか？

世界最古の鉄の発見			
年代	地域	民族	鉄の利用
紀元前1200~同1400年	トルコ・アナトリア	ヒッタイト帝国ヒッタイト人	鉄製武器や軽戦車
2017年9月 日本の研究者発見			
紀元前2250~同2500年	トルコ・アナトリア (ヒッタイトの鉄発掘層の下層)	ナゾの民族	ナゾ

千年も遡った人口鉄

前号で東北古代鉄に関しては、最近の考古学会でもようやく古代東北鉄は朝鮮半島南部経由ではなく、もっと北側の大陸から伝来したのではないかと述べた。そのことをさらに探索していくには、当然ながら、朝鮮半島情勢、さらには中国の往時の状況、いや中国に伝播する前の鉄の起源も考慮しなければ全容は分からないのではないかと考えた。ということで、今回は、



最古の人口鉄



東北から一旦離れて、鉄の起源と伝播について探索してみよう。  
\*  
そもそも、人の手によって作られた鉄は今から3千年以上前に、紀元前1200年以前にヒッタイト人が最初の発明者というのが定説だったが、つい最近日本の研究者がそれより約千年も古い人工鉄の痕跡を発見した。  
それはわずかな数センチの非常に小さな鉄塊だった。

(画像参照)  
場所は、ヒッタイトの鉄の痕跡を発見した遺跡の地層のさらに下の地層から現在のトルコ、アナトリア地方の「カマン・カレホユック遺跡」だった。(左の地図参照)  
これで人口鉄のはじまりは紀元前2250~同2500年となり、千年以上遡ることになり、現在より4千年以上前のことになった。  
しかし最初の鉄の発明者はナゾの民族である。  
ヒッタイト帝国は製鉄を独占して、作った鉄を武器や軽戦車に活用して、古代オリエント世界で栄えたがなぜかわずか二百年で歴史から消えた。  
その後、門外不出とされていた製鉄技術が世界に広がっていったのである。  
\*  
その後、中国に伝播したが、四つのルートで鉄が伝わった。(下の「中国への

製鉄伝播経路」参照)  
ひとつは黒海・カスピ海の北部を経て、モンゴル平原を経由しての遊牧民族による「草原の道ルート」。次に黒海やカスピ海の南部を経由しての「オアシスルート」。  
三番目はインドを経由した「南西シルクロード」。最後にインド南端、マレー半島を経由した「南海路」。いずれも最終的には往時の中国の中心地の西安に伝わっていった。当然ながら、鉄が伝わった四つのルートは各地でも製鉄が行われていた。  
特筆すべきは「草原の道ルート」で、遊牧民である「匈奴」も製鉄を行っていた。遊牧民は奪うばかりではなかったのだ。  
\*  
中国に製鉄が誕生したのは、西周末(紀元前8~9世紀)である。その後、国内で製鉄は盛んとなっていく。



古代の朝鮮半島地図

そして、中国統一国家の前漢の時代、周辺諸国に影響力を強めていき、やがて進出していく。  
完全に支配下に置いた地域では製鉄も行われることになる。  
そして中国は紀元前108年、朝鮮半島北部に侵入して漢四郡を設置した。  
その後、中国から製鉄技術と製鉄を担う人材が送り込まれ、自国への供給を目的として、朝鮮半島北部で製鉄が始まった。  
\*  
こうして製鉄技術は朝鮮半島に伝播し、そこで製鉄は盛んになった。  
その情報を入手した日本は、朝鮮半島に向いて製鉄のノウハウを入手しようとした。  
また、朝鮮半島の製鉄拠点が欲しくなった。  
そしてついに、朝鮮半島に進出して製鉄拠点を獲得するのである。(続く)

そして、中国統一国家の前漢の時代、周辺諸国に影響力を強めていき、やがて進出していく。  
完全に支配下に置いた地域では製鉄も行われることになる。  
そして中国は紀元前108年、朝鮮半島北部に侵入して漢四郡を設置した。  
その後、中国から製鉄技術と製鉄を担う人材が送り込まれ、自国への供給を目的として、朝鮮半島北部で製鉄が始まった。  
\*  
こうして製鉄技術は朝鮮半島に伝播し、そこで製鉄は盛んになった。  
その情報を入手した日本は、朝鮮半島に向いて製鉄のノウハウを入手しようとした。  
また、朝鮮半島の製鉄拠点が欲しくなった。  
そしてついに、朝鮮半島に進出して製鉄拠点を獲得するのである。(続く)



中国への製鉄伝播経路



伽耶国-ウィキペディアより

**【第40回三陸酒海鮮会(9/21)】**  
**秋の東北地酒、美味し!!**  
 7年目続行中の柔らかい三陸復興支援



当日の東北地酒ラインアップ

大震災から二年を過ぎた二〇一三年の四月二十七日にスタートしてから、今年で七年目に突入し、四十回を数えた『三陸酒海鮮会』。一か月半に一度の割合で、息長く継続してきた。

この会の特徴は、大上段に振りかぶつての被災地支援ではなく、美味しい東北地酒をたらふく呑み、三陸の海鮮を腹一杯食べることで、間接的に被災地を支援すること、それだけ。堅苦しいメッセージ発信もない。

東京に居ながらにして飲み食いするだけで三陸の復興に貢献するのではあるが、これが一番長続きするとの発想だったが、思惑は的中してしまっても継続中である。

東北地酒は毎回ラインアップが変わる。最近の人気地酒は福島の写真や岩手のAKABU。純米酒か純米吟醸しぼりで吟味された銘柄ばかり。これを三時間飲み放題、海鮮も食べきれないほど出る。これで税込五千円だから他所では絶対無理。渋谷の焚火家のオーナーの長年のご協力の賜物だ。

恒例の二次会では、近くのビアバーで国内外のラグビーファンとの交流。楽しかった。次回は十一月九日。



AKABU



乾坤一ひやおろし



呑み助の面々



写楽



南部美人 / 天明



三陸海鮮の一部ご紹介



日高見ひやおろし



伯楽星



二次会に繰り出す・・・ビアバーでラグビー談義